

平成31年度各会計別当初予算

区分		予算額	前年度比
一般会計		774億4,000万円	0.4%
特別会計	国民健康保険事業	227億6,193万円	▲1.4%
	下水道事業	79億196万円	3.2%
	渋谷土地区画整理事業	10億8,431万円	▲43.9%
	介護保険事業	161億9,878万円	2.9%
	後期高齢者医療事業	28億3,035万円	0.5%
企業会計	病院事業	136億1,441万円	▲12.5%
合計		1,418億3,174万円	▲1.4%

平成31年度各会計別当初予算の概要

市の予算は、一般会計、特別会計、企業会計の3種類で構成されています。特別会計とは、特定の収入を特定の目的に使うなど、一般会計と区別して管理する会計のことです。企業会計とは、民間企業と同じように事業収入によって経営をしている会計で、大和市では病院事業がこれに該当します。

当初予算総額は1,418億3,174万円で、前年度比20億5,154万円(1.4%)の減となっています。

一般会計歳出(目的別)の内訳

区分	予算額
民生費	369億1,399万円
教育費	88億6,112万円
衛生費	77億2,684万円
総務費	75億7,316万円
土木費	70億2,691万円
公債費	42億2,844万円
その他	51億954万円
合計	774億4,000万円

目的別にみると、民生費が369億1,399万円と全体の47.7%を占めています。前年度比では、民生費、教育費、衛生費、公債費がそれぞれ3.6%、21.7%、3.0%、13.9%の増、総務費、土木費がそれぞれ7.3%、28.4%の減となっています。

目的別歳出

歳出は、その性格から目的別と性質別に分けられます。目的別とは、歳出を土木費や教育費といった「仕事の内容」で区分するもので、性質別とは、歳出を人件費や扶助費といった「経費の性質」で区分するものです。

一般会計 歳出の概要

性質別歳出

義務的経費(扶助費、人件費、公債費)は406億7,920万円で、前年度に比べて12億8,324万円(3.3%)の増となっています。このうち、人件費は減少するものの、扶助費が保育所等施設型給付事業、児童扶養手当支給事業、保育サービス利用助成事業などの増により、前年度比4.0%増となっています。

投資的経費(建設事業)は、小学校防音設備整備事業、北大和小学校増築事業などが増加するものの、中央林間駅周辺まちづくり事業や市庁舎施設大規模改修事業などが減少することにより、前年度比17億5,967万円(23.2%)の減となっています。

歳出用語解説



【目的別歳出】

- 民生費**：社会福祉や児童福祉など社会生活を保障するための経費
- 衛生費**：予防接種やごみ処理など、健康で衛生的な生活のための経費
- 総務費**：市役所を運営する全般的な経費
- 土木費**：道路や河川の整備、区画整理などの経費
- 公債費**：市債の元金や利子の償還経費

【性質別歳出】

- 義務的経費**：支出が義務づけられ、任意に節約できない経費(扶助費、人件費、公債費が該当)
- 扶助費**：生活保護法、児童福祉法などの法令などに基づく福祉的経費
- 公債費**：市債の元金や利子の償還経費
- 物件費**：旅費、消耗品費、委託料などの消費的経費
- 繰出金**：一般会計から特別会計へ支出される繰出金などの経費
- 投資的経費**：道路工事や建物などの建設事業費や用地の購入費
- 補助費等**：団体への負担金、補助金など

一般会計歳出(性質別)の内訳

